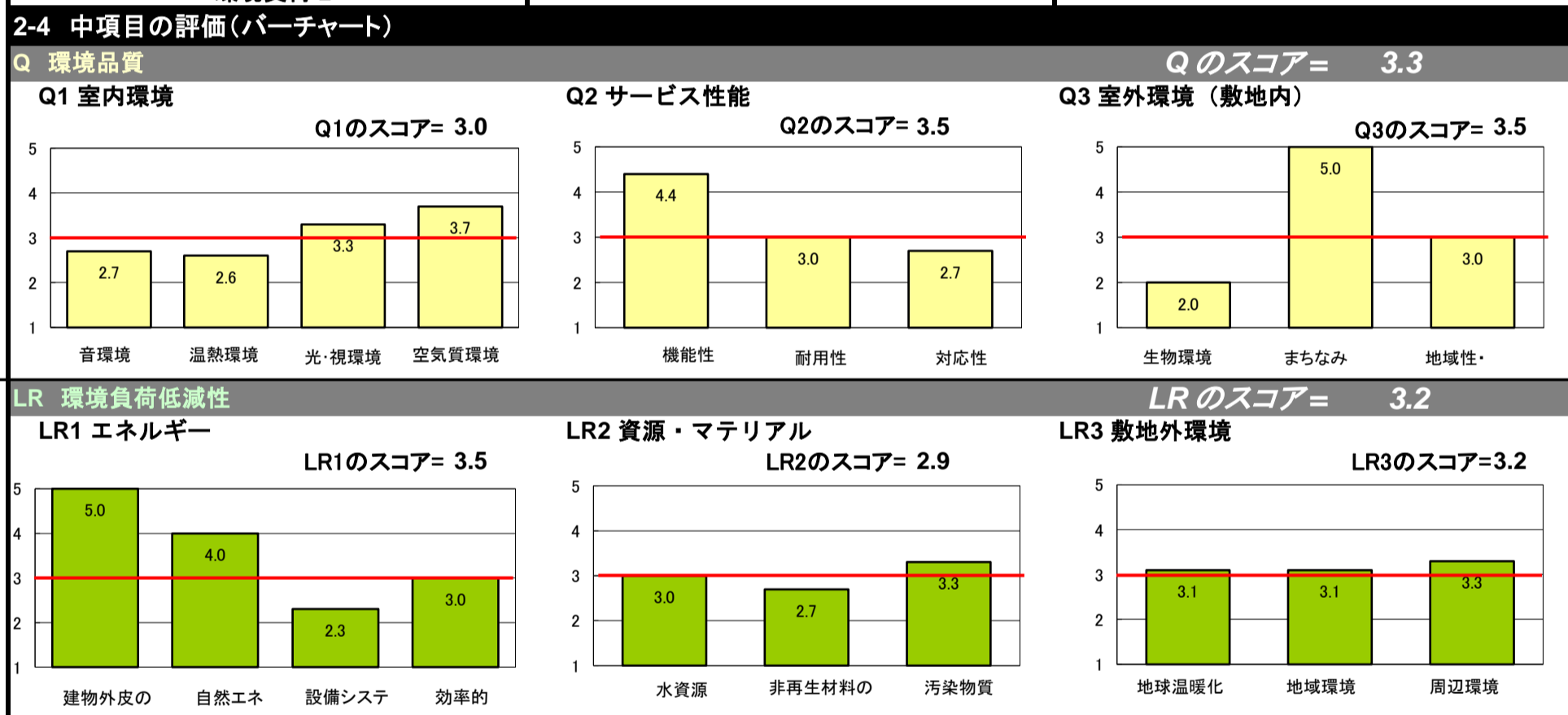
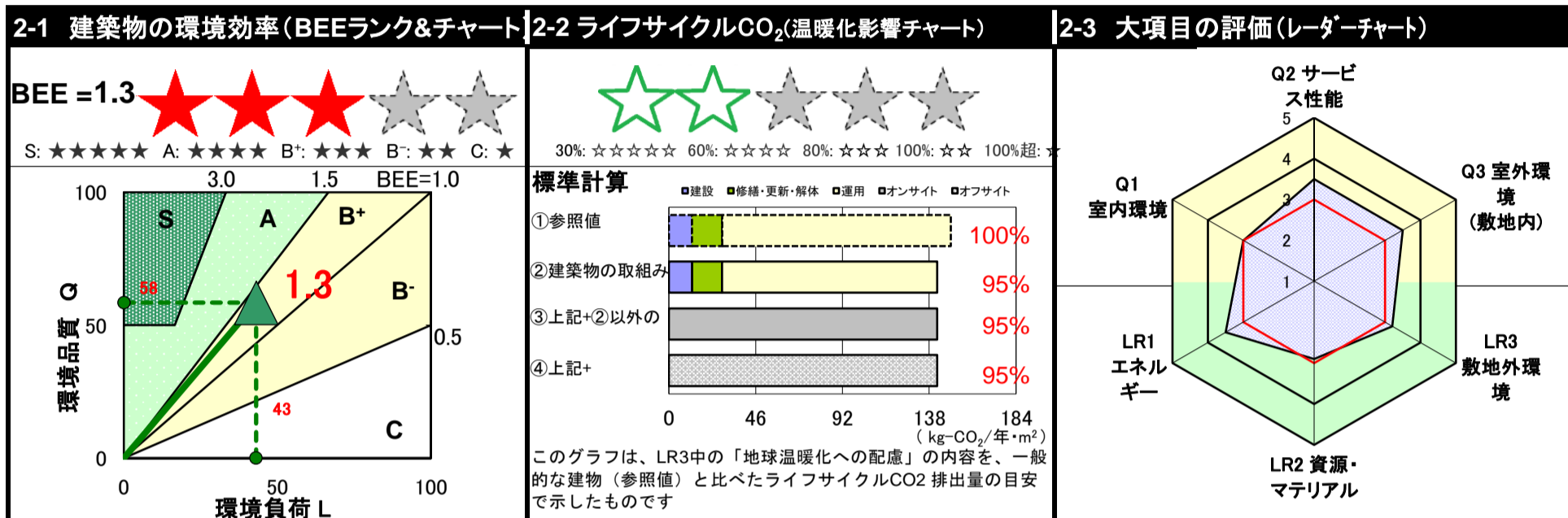


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	博愛ナーシングヴィラ	階数	地上2階
建設地	愛知県刈谷市熊野町5丁目25番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	77人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年11月25日
敷地面積	4,091 m ²	作成者	福田恭平
建築面積	1,876 m ²	確認日	2022年11月28日
延床面積	3,145 m ²	確認者	富田彰次



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮 3.1</p>	<p>③敷地内の緑化 2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 53.4%</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.1%</p>
<p>②資源の有効活用 2.7</p>	<p>④地域材の活用 3.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>愛知県産材木製ルーバー</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		0.1	3.0	0.15	2.6	2.6	1.00		2.7	
1.2 遮音		0.4	3.0	0.40		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能			3.0	0.40		3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			3.0	0.60		3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-		3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-		3.0	0.20			
1.3 吸音			3.0	0.20		1.0	0.20			
2 温熱環境										
2.1 室温制御		0.3	2.6	0.35	2.6	2.6	1.00		2.6	
1 室温		0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38		3.0	0.57			
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.25		3.0	0.43			
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.38		-	-			
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.20		1.0	0.20			
		3.0	3.0	0.30		3.0	0.30			
3 光・視環境										
3.1 昼光利用		0.2	3.4	0.25	3.3	3.3	1.00		3.3	
1 昼光率		0.3	3.4	0.30	3.0	3.0	0.30			
2 方位別開口		3.0	3.0	0.60		3.0	0.60			
3 昼光利用設備		3.0	4.0	0.40		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		0.3	4.0	0.30	4.0	4.0	0.30			
1 昼光制御		5.0	4.0	1.00		4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		3.0	0.25			
4 空気質環境										
4.1 発生源対策		0.2	4.0	0.25	3.5	3.5	1.00		3.7	
1 化学汚染物質		0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63			
4.2 換気		0.3	3.5	0.30	2.6	2.6	0.38			
1 換気量		3.0	4.0	0.50		4.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	3.0	-		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		1.0	0.33			
4.3 運用管理		0.2	5.0	0.20		-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	3.0	-		-	-			
2 喫煙の制御		3.0	5.0	1.00		-	-			
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	4.2	0.40	4.6	4.6	1.00		4.4	
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60			
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-		5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00		3.0	-			
1.2 心理性・快適性		0.3	5.0	0.30	4.0	4.0	0.40			
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	3.0	-		3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	-		-	-			
3 内装計画		3.0	5.0	1.00		5.0	0.50			
1.3 維持管理		0.3	5.0	0.30		-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	5.0	0.50		-	-			
2 維持管理用機能の確保			5.0	0.50		-	-			
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.0	0.31		-	-		3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48		-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80		-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.0	0.20		-	-			
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		3.0	0.23		-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09		-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			4.0	0.08		-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15		-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23		-	-			
2.4 信頼性		0.1	3.0	0.19		-	-			
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20		-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20		-	-			
3 電気設備		3.0	3.0	0.20		-	-			
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20		-	-			
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20		-	-			

3 対応性・更新性				0.2	2.8	0.29	2.7	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			②	0.3	2.4	0.31	2.4	2.4	0.50	
1 階高のゆとり				-	2.0	0.60		2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38				
1 空調配管の更新性					3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22					
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			独自③		2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	ダイニングから見える庭園計画	5.0	0.40		-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-					3.2
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.7	3.0	5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用				自然換気システムの採用	3.0	4.0	0.20		-	4.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.94	3.0	2.3	0.30		-	2.3
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-	-	-		-	
4.1 モニタリング					-	3.0	-		-	
4.2 運用管理体制					-	3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	2.9
1 水資源保護					0.1	3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水					3.0	3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.7	0.63		-	2.7
2.1 材料使用量の削減					-	2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	仕上げ材に地場建材の木材の利用	3.0	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				指定化学物質の含有なし	3.0	4.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68		-	
1 消火剤					-	-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)					-	3.0	0.50		-	
3 冷媒					3.0	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率95%	-	3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮					0.3	3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止					-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			独自	来客用駐車場と荷捌き駐車場の分離と駐輪場の設置	-	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				既存で廃棄物の計算を行い、余裕のあるごみ置きスペースの確保	-	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.3	0.33		-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					-	-	-		-	
1 騒音			独自		-	-	-		-	
2 振動			独自		-	-	-		-	
3 悪臭					-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.6	3.0	0.67		-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	3.0	-		-	
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					0.3	4.0	0.33		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				敷地外に影響がない照明計画、照度の調整	-	4.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				敷地外に影響がない照明計画、照度の調整	-	4.0	0.30		-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.1	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:53.4%/建物緑化:0.1%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		3.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	愛知県産材木製ルーバー
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>安心安全な二階建ての老人ホーム。高級感、温かみのある内装計画。 1階2階からのダイニングから眺める庭園。</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>住居スペースでは、直射日光を遮れるようカーテンの設置と、バルコニー庇により室内空間を向上。</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>すべての居室を個室とし、各室面積は20㎡を確保している。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>敷地内では、散策できる庭園を設け、可能な限り植栽を配置した。</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>ハイサイドライトの採用</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>温かみのある木の使用。愛知県産材木製ルーバーの採用。</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>周囲には、最低限の条件をすべて満たした計画。 外構の照明では、周囲に影響ない配置計画を行った。</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>